



Data

監督・原作・脚本: イ・チャンドン
 出演: ソル・ギョング/ムン・ソリ
 /キム・ヨジン/パク・セボ
 ム/ソ・ジョン/コ・ソヒ/
 キム・ギョンイク/キム・ヒ
 ウォン/キム・グァンギョ/
 カン・ギョンホン/ヨム・ド
 ンホン/キム・ヒチャン/
 ラ・ミラン/コン・ユソク/
 キム・ビョンチョル/ペ・ソ
 ンウ/ソ・スンウォン

■■■ショートコメント■■■

◆イ・チャンドン監督の長編2作目の名作として有名な本作の4Kレストア・デジタルリマスター版を、「製作20周年」『バーニング劇場版』公開記念で鑑賞することができたことに感謝。

◆冒頭の“ピクニック”に登場するキム・ヨンホ（ソル・ギョング）の狂気ぶりに、まずはビックリ。これが①1999年春のことだが、本作はそこから②1994年（会社を経営する時代）、③1987年（刑事になり切っていた時代）、④1984年（刑事になったばかりの時代）、⑤1980年（兵役中で光州事件を迎えた時代）、⑥1979年（20歳の頃、仲間たちとピクニックに来た時代）と時代を遡りながら、20歳のキムが40歳になって、なぜこのような狂気状態になったのかをたどっていく。したがって、本作では何よりもキムを演じたソル・ギョングの演技力のすばらしさに注目！

◆他方、『オアシス』（02年）でもものすごい演技を見せ（『シネマ7』177頁）、多くの賞を受賞した女優ムン・ソリにも注目だが、何と本作は彼女のデビュー作。したがって、本作ではその初々しさと可憐さが際立っており、まさに1960年代に吉永小百合がデビューした時と同じような雰囲気だ。しかし、ストーリーの中で彼女の存在感はそれほど大きくなく、本作ではむしろキムの妻・ホンジャ（キム・ヨジン）や、会社の従業員でキムの浮気相手役を演じたソ・ジョン、さらにバーの店員役のコ・ソヒ、に注目したい。

◆1949年生まれの私は、1979年は弁護士として独立した年で30歳の時。キムが自殺する1999年はちょうど50歳の時で、自社ビルに移転する直前の年だ。したがって、どんどん悪くなる一方の人生だったキムとは反対に、私にとってのその20年間は弁

護士として最も充実した時期になる。

キムは1980年の光州事件によって大きな影響を受けたが、日本は1989年のバブル崩壊によって大きな影響を受けた。それから30年後の2019年、日本は平成の30年間を終え、私は70歳になった。不幸にしてキムは40歳で自殺してしまったが、私は日本が1945年の敗戦から74年間も戦争がない幸せを感じつつ、これからも残りの弁護士人生を全うしていきたい。本作を鑑賞してしみり、そんな気持ちに・・・。

2019（平成31）年4月9日記